

「大阪都構想」実現に向けた 公明党の取り組みについて

いまの大阪市を4つの特別区に再編する大都市制度改革、いわゆる大阪都構想に関して、8月28日の大阪府議会、9月3日の大阪市会で、特別区設置協定書が可決され、大阪市民を対象とする住民投票が11月初旬にも実施される運びとなりました。住民投票決定に至るまでの、公明党の取り組みや考え方について、説明をさせていただきます。

【1】都構想議論の経緯

公明党は、関西・大阪が日本経済の牽引力として発展するために、二重行政によるムダの解消や、関西・大阪の広域的な行政連携に、積極的に取り組む必要があると考えてきました。特に、その中核となる大阪市の大都市制度改革は必要不可欠であるとの立場から、その具体化に取り組んできました。2012年8月、国会において公明党が推進し、自民党を含めた与野党の賛成で、「大都市地域特別区設置法」を成立させ、大阪都構想の実現に法的な根拠を与えたのも、その姿勢のあらわれです。

その結果、設置された都構想の制度設計を行う法定協議会において、公明党はどの政党よりも住民目線で、審議を進めてきました。だからこそ、住民サービスが低下する懸念やコストの問題などを踏まえ、スケジュールありきで性急に議論を進めることに対しては、反対しました。つまり公明党は、改革の方向性には賛同しつつ、どこまでも府民・市民の暮らしや住民サービスを守るための制度設計を行うべく、対話の努力を続けてきたのです。

【2】これまでの都構想の問題点を改善！

そして昨年4月、都構想を進めるべきかどうかを問う、大阪府知事選・大阪市長選のダブル選挙において、都構想の実現を求める府民・市民の民意が示されました。その一方で、都構想による住民サービスの低下などを懸念する声も、公明党に少なからず寄せられました。公明党は、それらの声を重く受け止め、府民・市民を守るための都構想の実現へ4つの具体的な改善点(下記参照)を提案。その結果、公明党の主張がすべて受け入れられ、大阪の更なる発展を図りつつ、身近な住民サービスの低下を招かない大都市制度改革の協定書案が取りまとめられました。

①大阪市民の住民サービスを低下させないこと。

→ 大阪市独自の特色ある住民サービスは全て継続されます！
(敬老パス、塾代助成、子ども医療費助成等)

②初期コストを最小限に抑え、新たな住民負担を求めないこと。

→ 初期コスト大きく削減(最大563億円→最大241億円)

③現在の区役所の機能を維持し、窓口サービスを低下させないこと。

→ 現行の区役所の名称はそのまま機能も維持!

④児童虐待防止対策として、4つの特別区に児童相談所を設置すること。

→ 全ての特別区に児童相談所が設置されます!

加えて、公明党の訴えにより、さらなる改善がなされました。

●24地域自治区に災害対策本部を設置。

●大阪市民を対象とした天王寺動物園などの入園料の無料優遇措置

(市内の小中学生や65歳以上の高齢者等、未就学児、障がい者等と介助者が対象)を継続し、府民にも適用を拡大へ。

●特別区をまたいだ通園・通学がこれまで通り可能に。

※公明党の主張により、「大阪都構想」は、21世紀の大阪の発展と住民福祉のさらなる充実に資する「より良い制度設計」に生まれ変わりました。

【3】都構想から始まる大阪飛躍への道!

本年6月19日の法定協議会において、公明党が提案した4つの改善点が反映された特別区設置協定書案が採決。公明党の賛成に加え、自民党府議全員が賛成した結果、16対3で賛成多数となりました。その後、総務省の承認を経て大阪府議会、大阪市会での採決でも賛成多数となり、住民投票の実施が決定しました。

大阪都構想の実現により、大阪市が持つ経験と能力が大阪府に一元化され、成長戦略や都市基盤整備等の政策を広域的な視点で実施できるようになります。それによる大阪府域全体の成長が、大阪市域へも波及するという相乗効果をもたらします。また、相次ぐ自然災害や感染症などに対応する危機管理も、府への情報や権限の一本化によって、さらに迅速化されます。

一方、280万人という巨大な人口を抱える大阪市を4つの特別区に再編することで、これまでより住民に身近になる特別区長と特別区議会が政策の決定と執行を行えるため、さらに地域ニーズを踏まえた住民サービスの提供に専念できる体制が確立します。

世界の大阪・関西へー。新しい「大阪都構想」の実現で、新しい大阪への飛躍が始まります。

大阪都構想の行方は、大阪市民による住民投票にゆだねられます。公明党は、約8年間の都構想議論において、府民・市民のためとの思いを貫き、今日に至りました。この間、党員・支持者の皆様には様々なご心配をおかけいたしました。投票日まで、皆様のお声に向き合い、寄り添い続けて参りたいと思います。公明党の提案で、より良いものに大きく変わった大阪都構想に対する皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。